

(学校運営協議会・報告様式)

令和7年度 第2回 栄小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和7年 7月 11日(金) 19:00 ~ 20:00

2 場 所 図書室

3 あいさつ(委員長より)

- ・この季節に多くなる熱中症について、ぼおっとするなどの意識があいまいになる症状は、主に神経症状によるもの。こどもの顔色を見ながら早め早めに休ませることが大切。

4 協議事項

(1) リーディング DX スクール事業について

- ▶天栄中学校区のすべての小中学校で受けている文部科学省委託のリーディング DX スクール事業について、鈴鹿市教育委員会事務局教育指導課より説明。
- ▶この事業では、1人1台端末とクラウド環境を活用したこども主体の授業に向けた授業改善に取り組んでいる。また、校務 DX(授業以外の業務のデジタル化)の推進もめざしており、教職員の業務効率化や働き方改革にもつなげていく。

(委員より)

- ▶主体的に学ぶこどもを育てることは大切であるが、主体性を育むために、デジタル化は必要なのか。
- ▶デジタル化で子ども達が意欲を持って学習に取り組めるようになるのはよいことだと考える。一方で、取り残されてしまった子が、やる気をなくしてしまうのではないかと心配する。教職員を増やして、こども達のやる気や興味を引くような手立てが必要なのではないか。
- ▶子どもに多くの情報はいらぬのではないか。少ない情報の中でしっかり考えることが大事なのではないか。
- ▶デジタルを活用した画面上の他者の意見を参照するよりも、面と向かって人の意見を聞くことが大事なのではないか。
- ▶文字を書くことが苦手な子どもにとっては、ICT 端末のキーボードを使ってタイピングで入力することは有効なのではないか。
- ▶教室に入りづらい子どもにとってデジタル化を有効に活用することもできるのではないか。

5 その他

- ▶地域の危険箇所について
- ▶教育講演会について
- ▶第3回学校運営協議会開催日の確認